



幹 事 連 絡

平成26年5月29日

午前11時00分

清水海上保安部

(問合せ先)

警備救難課長「葉梨 健司」

電 話：054-353-0118

FAX：054-353-7118

広 報

静岡地区水難救済会焼津救難所主催
焼津ボートクラブに対する安全講習会について

プレジャーボートの船長等関係者に対する安全講習会を下記の通り実施いたします。
本講習会は、静岡地区水難救済会焼津救難所（有限会社焼津マリン）が主催し、焼津ボートクラブ会員（約60名）に対して実施するものです。

内容として、

- ・ 過去5年間におけるプレジャーボート等の海難の傾向
- ・ プレジャーボートの事故事例
- ・ ライフジャケットの正しい着用法

等となります。

取材を希望される社は、5月30日（金）の午後5時までに

清水海上保安部警備救難課【054-353-0118】

まで連絡願います。

記

- 1 日時 平成26年6月1日（日）午前9時から約1時間
- 2 場所 焼津市中港5-18-5
(有) 焼津マリン 電話054-627-6171
* 講習会の実施場所は、少し離れた屋外で行います。
当日、午前8時30分までに集合していただければ
ご案内します。

以上

参考 静岡地区水難救済会焼津救難所とは
別紙 日本水難救済会のホームページ（抜粋2枚）を添付させていただきます。

[サイトマップ](#) [文字サイズ変更](#)
[サイト内検索](#)



公益社団法人 日本水難救済会
Marine Rescue Japan

青い羽根募金とは? [募金する](#)

募金の使いみち [募金者名一覧](#)

日本水難救済会について

名誉総裁

日本水難救済会の歴史

海難救助事業

洋上救急事業

水難救済思想の普及

栄誉ある表彰

調査研究事業

情報公開

[トップページ](#) > [海難救助事業](#)



海難救助事業

自らの危険を顧みず人命救助に尽くす“海の救難ボランティア”。

設立以来、平成24年末現在、救助人員は195,172名、救助船舶は39,432隻を数えます。

海苔養殖施設に乗揚げたボートから3名を救出

午前11時10分頃、プレジャーボートが東京湾木更津沖の陸岸から3海里未満に位置する海苔養殖施設に乗揚げ、遭難しているとの連絡を受け、所長以下、救難所員9名は直ちに救助船に乗船して遭難場所に向い、強風が吹き荒れる天候の中、救助活動を実施し、乗組員3名を無事救助するとともに、翌日には、海苔養殖施設内から乗揚げたプレジャーボートの引き出しも行った。



海苔養殖施設での乗揚げ船の引き出し作業

発 生 日：平成24年2月18日

対応救難所：千葉県水難救済会金田救難所

漁具や漁網が浮遊する現場で迅速な救助

午後4時30分頃、酒田市北西約8海里付近で、操業中の小型底曳網漁船が横波を受けて転覆、海中に投げ出された船長及び乗組員2名は、自力で該船の船底に這い上がり救助を待った。

同日午後6時30分頃、家族から漁業協同組合を通じて関係の救難所に捜索依頼があり、救難所長は、一刻も早い現場確認が必要と判断し、2名の協力者を乗船させて直ちに酒田港を出港し、捜索を実施。洋上は暗闇で捜索は困難であったが、船長は、自船が帰港する際、操業中の同船を視認した海域を重点的に捜索し、自船から3海里（約6km）の地点のレーダーのかすかな映像を見逃さず、午後8時10分頃、転覆船を発見。漁具や漁網が多数散乱浮遊し、接近困難な状況の中、接舷して船底上の3名を無事救助した。



転覆した小型底引網漁船

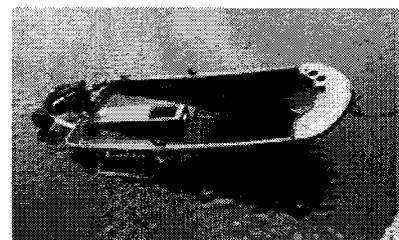
発 生 日：平成24年2月22日

対応救難所：山形県水難救済会酒田救難所

遊漁中波朗浪を受け浸水したミニボートから乗組員を救助

午前7時50分頃、西牟婁郡すさみ町見津老漁港沖合の黒島付近にて遊漁中の2名乗組みのミニボートが波浪を受けて浸水・転覆し、乗船者2名（救命胴衣着用）は、そのまま海に投げ出されたが、ボートに括まり漂流状態となった。

この状況を付近磯場で釣をしていた者が目撃、直ちに同人を磯場に運んだ瀬渡船船長（すさみ支所救助員）に救助要請を行い、転覆から約



浸水したミニボート

発 生 日：平成24年7月22日

対応救難所：和歌山県水難救済会

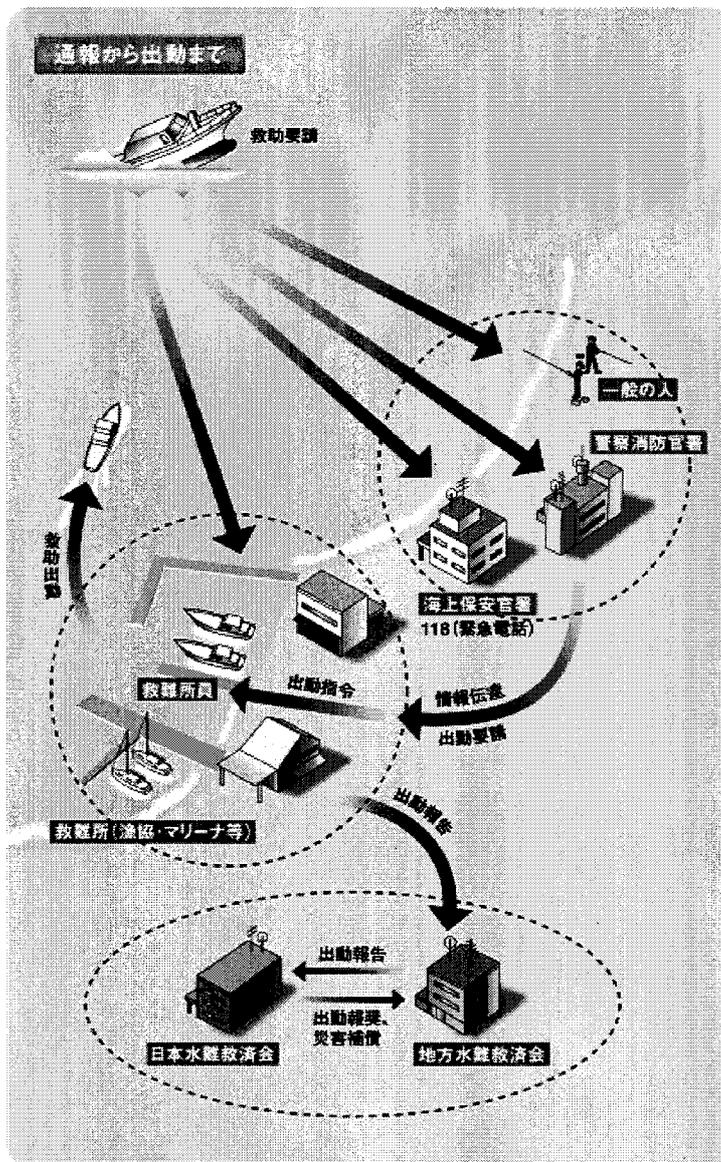
10分後、同救助船が現場に到着、漂流中の乗船者2名を無事救助。ミ
二ボートを曳航の上、見津老漁港に入港した。

岩場に囲まれた海域で、波と闘いながら救助活動

午前6時40分頃、和歌山県安指漁港沖合で瀬渡船が激浪により転覆
大破し、海中に投げ出された乗組員2名及び釣り客5名の救助要請を串
本海上保安署から受けた同支所は、救助船5隻、救助員13名を直ちに
出動させ、付近海上の漂流者の捜索にあたった。

現場付近は岩礁・暗礁に囲まれた危険な海域で、10メートルを超え
る強風の中、迅速的確な救助活動により漂流者3名を無事救助した。

救助までの流れ



ペ
ー
ミ
支
所
ジ
ト
ッ
ブ
に
も
ど
る

紀南西部救難所すさ



船尾から波を受けて転覆大破した瀬渡船

発 生 日 : 平成23年2月22日

■ 対応救難所 : 和歌山県水難救済会
本 紀南東部救難所串本
ホ 支所

救助活動訓練・救難器具を見る

全国の救難所を見る (PDF)

海難救助の実績を見る (PDF)

最近の救助活動状況を見る

- ▶ 個人情報の取扱いについて
- ▶ サイトポリシー
- ▶ お問い合わせ
- ▶ 関連リンク

公益社団法人
日本水難救済会

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル7階
電話 : 03-3222-8066 FAX:03-3222-8067